

(1 1 そのほかの都市) 飼育支援のため自治体と連携している獣医師会と事業内容 H 1 7 年 6 月報告
 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰 日本小動物獣医師会副委員長 中川美穂子

地域 契約年度	対象	会員	活動内容	治療報酬	訪問指導 講習会	予算
新潟市 (委託契約 H6年度)	114 幼・小 中・養護 飼育中	42	「飼育動物診療、飼育指導、健康診断委託契約」 各校にたいする担当獣医師を決めて飼育動物の診療と年 1 回の訪問による健康診断飼育指導を全校に実施 担当校の希望により生活科等での支援授業、ふれあい動物教室実施 飼育優良校の表彰 (亀岡市と合併)	1件3万円まで 無料、それ以上は別請求 会員には診療費の概ね 8割程度を支給	年 1 回健康診断時に訪問指導 年度初めに教育委員会主催で飼育担当教師向け研修会を開催。各校 1 名以上の参加を義務づけ	3,122,460円 H10年度 70.5万 H11年度 75.4万 H12年度 86.9万円 H13 93.84万円 H16 同上
宇治市 H11年度 委託契約	22校	15+ 府獣 開業	宇治市「小動物の学校医制度」 平成 11 年度から年 2 回程度、獣医師は学担当の校で動物の健康診断と教師、児童に対し飼育指導を行う。 平成 12 年度: 1、校長会研修「小動物の学校医の役割」、 2、飼育担当教師研修「兎と鶏の飼育法と主な病気」、 3、全校に定期健康診断及び飼育指導 H13 年 5 月前年度反省会、 H14 年・H15・H16 年度 取り組み計画会議 11 月 担当教諭研修会 2 月 学校訪問	加療の必要な時点で、担当医と学校で協議し、必要に応じて学校は教委と協議す	飼育対象校に行う 教委の依頼により飼育講習会	44万円 獣医師に 1校当り年間 15000円報酬
八戸市 H13年度 委嘱制度	49 H17 年 1村合併	9	非常勤公務員扱いの学校獣医師制度 * 獣医師会の推薦により教育長が任命 年 1 回の訪問指導、日常の相談 年 1 回乗馬体験(毎年 15~16 校 1,500 人から 1,800 人位が授業の一環で体験) 学校飼育動物ネットワーク協議会での意見交換 (父兄、校長会、教育委員会、獣医師会) *公務災害補償:学校獣医師の公務上の災害 または通勤による災害に対する補償は、八戸市非常勤特別職の職員の公務災害補償費等に関する条例を適用する。	含まず H15 年より 獣医師会で 年 20 万円を 予算化し、対応している	年 1 回の 訪問指導と 教師向け 講習会	学校獣医師報酬 H17 年 63.7 万円 1.3 万円/校 H16 年度変わらず H15 年度 1.3 万円/校 H13 年度 1 万円/校 他・公務災害補償費等に関する条例を適用する。 獣医師会 交通費として一人 2 万円を手当
石川県 金沢市 H13年度 委託契約	58 公立 小	担当 15 総数 26	市教育委員会と契約 金沢市立小学校「飼育動物愛護の推進」支援事業 1) 獣医師による飼育活動サポート 飼育動物・飼育活動に関して相談に対応 学校に対して訪問指導・助言 飼育動物を可能な範囲で医療サポート 2) 飼育担当教師の研修(市教委主催) この事業のため、各学校が主体になって獣医師に連絡をとり、訪問指導を受ける。また学校長は年一回飼育状況レポートを、担当獣医師のコメントをつけて作成する	契約に含む	学校が主体となり、担当獣医師と連絡、飼育状況を把握し、獣医師の訪問指導を受ける。報告書は校長が作成	120万円 内訳 獣医師委託報酬 60万(4万/人) 治療費 45万 事務費 15万
石川県 内灘町 H14年度 委嘱制度	5校	2	町教育委員会との契約 先生対象の飼育指導、児童対象の飼育指導、 学校訪問、動物ふれあい体験教室の開催、飼育動物の治療、その他町長が特に委嘱した事項など、年に最低 2 回は学校を訪問する	含む	年 2 回以上すべての学校を訪問する	20万円 (1校 4 万円)
茨城県 阿見町 H14年度 講師	8校	3	飼育動物の健康管理指導及び衛生検査 以前より飼育に関して教育委員会や学校の相談に乗っている H14 年、町は獣医師への講師料を予算化した 現在まで治療は指導を獣医師は無料でやっているが、町はいつまでもそれではまずいと思っている。町との信頼関係は厚い	無料	1校 2 回まで予算手当てあり。学校の希望に応じて行う	講師料 2 人分 2 万円 講師料 1 回 5 千円

(1 1 そのほかの都市) 飼育支援のため自治体と連携している獣医師会と事業内容 H 1 7 年 6 月報告
 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰 日本小動物獣医師会副委員長 中川美穂子

佐世保市 H15年度	41校	55名	衛生課主体の活動 佐世保市開業獣医師会と家畜保健所、そして長崎県獣医師会の積極的な協力を得ている 佐世保市獣医師会と佐世保市教育委員会との間で下を行い獣医師制度に向けての実績づくり。 1. 教師向け講習会開催 (佐世保市獣医師会に講師依頼)、 2. 治療(実費)、 3. 学校からの相談・動物教室依頼随時無償対応。 1と2について、教育委員会が主体で各学校へアンケート調査し基礎資料として今年度の予算要求を行ったが、予算が付かなかったため、別途の予算で対応すること。	行政の費用で治療費対応(実費)	開催する学校から依頼があった場合	治療費実費
石巻市 H15年度	19校 中 6校	13名 中 9名	ウサギの飼育管理指導 ウサギの去勢手術 小学校にて講演 生活科 地域講師として授業支援	会員の裁量にまかせてある	希望があれば対応	教育奨励費から手数料 32000
高槻市 H15年度	41小	17名	獣医師会は独自に希望校に訪問活動をしている 教育委員会は連携に前向きで予算申請をしてくれているが、具体的な連携は進んでいない 16年度は、講習会に講師派遣 電話による飼育相談 モデル校に訪問指導	会員の裁量による	希望校に対応	講習会の講師料のみ
明石市 H16年度 委託契約	62 27園 28小 13中 1養護	15	長い活動を経てH16年度から契約 診療(飼育動物の診療・治療)、 訪問指導、(飼育相談、授業協力、委員会指導、教職員への研修) 他に学校飼育動物のシンポジウムを教育委員会と共催	契約内	希望校に対応 小・幼稚園 H16年度 15施設実績	H17年度 45万円
安曇川町 H15年度	4	2	公立小学校の飼育に関して 飼育相談受付、飼育法等 動物の治療 ふれあい教室	町から支払われる H15年 実績無し	希望に応じて H15年鳥インフルエンザと教員向けの指導を各学校で行った	ふれあい教室の講師を学校の裁量により支払う 鳥インフルエンザのための訪問のときは町から報酬がでた
笛吹市 旧石和町 15年より 委託契約 県衛生課 仲介	13校	55 開業	旧 「石和町立小学校における動物飼育支援事業に関わる業務委託契約」 飼育動物の診療 飼育動物等の飼育指導及び飼育事業 児童へ・飼育法指導、触れあい法、体のしくみ 教職員へ・飼育施設及び管理法、病気予防法 県獣は会員を狂犬病事業と同じように、担当地域をわりふった	契約に含む	全校 学校の希望で 年3回訪問する	H17年度 25万円
西宮市 H16年	10校	30名	「環境都市宣言」の新事業に応募して認められた 1) 地区担当医制(獣医師会全員)による、診療および相談。 2) 対策委員および地区担当医による、飼育管理指導。 3) モデル校による継続的な教育指導。	契約に含む	前年度までに 10校に対して 行った	60万円
四日市市 H16年	39校 22園	13名 20名 の内	教育委員会の了解のもと 学校訪問をふくむ飼育指導、治療などに対応している (飼育支援??)	実績集積中	H15: 希望により7校と6園の 行った	訪問活動への 報奨金 20万円
徳島市 H15年度 委託契約 予定 保育課	保育 園 34 内 26 飼育	26	H15年開業部会と徳島市児童課と契約 H14年度児童課と話し合い 保育園への訪問活動による実態調査 H15年度はその結果を踏まえて活動方針を決める 委託契約 活動 年に1回講習会、定期訪問、相談窓口 年に1回行政と獣医師会と話し合う	契約に含む	年に1回程度 訪問予定 希望があれば 対応	H15年度 予算化 H14年度調査費 約10万円 内訳 旅費 2000円 事務費 1万円

(1 1 そのほかの都市) 飼育支援のため自治体と連携している獣医師会と事業内容 H 1 7 年 6 月報告
 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰 日本小動物獣医師会副委員長 中川美穂子

大津市 H17 年度 約束	33小 33園	20	この事業の大筋2点 大津市立小学校と幼稚園に対し 年1回訪問して動物の飼育状況に関して助 言と病気の動物を治療する 今年度の実績を踏まえて来年度以降も市 側と協議を続ける	約束内	年1回訪問	教材費的な予算枠 20万円
---------------------	------------	----	--	-----	-------	------------------